

(資料4)

第1回 徳島県特別支援学校の 教育環境に関する検討会議

事務局説明

徳島県教育委員会

1

1 徳島県立特別支援学校の 現状と課題

- (1) 国における特別支援教育の動向と現状
- (2) 徳島県における特別支援学校に関する
これまでの取組
- (3) 徳島県立特別支援学校の現状と課題

2

1-(1)

国における
特別支援教育の動向と現状

3

特別支援教育制度への転換

平成19年4月：特別支援教育の本格的実施

- それまでの特殊教育から「一人一人の教育的ニーズ」に
応じる「特別支援教育」へ制度転換
- 盲・聾・養護学校から特別支援学校へ

平成24年7月：共生社会の形成に向けたインクルーシブ
教育システムの構築のための方向性を明示

- 就学先決定の在り方
- 合理的配慮、基礎的環境整備
- 多様な学びの場の整備
- 教職員の専門性向上 など

4

共生社会をめざす方針が明確化

- 共生社会の実現は最重要課題
 - － 障がい者を含めて誰もが相互に尊重
 - － 多様な在り方を認め合う全員参加型社会
- そのためのインクルーシブ教育システム
 - － 同じ場で共に学ぶとともに
 - － 個別の教育ニーズに応じた教育の提供

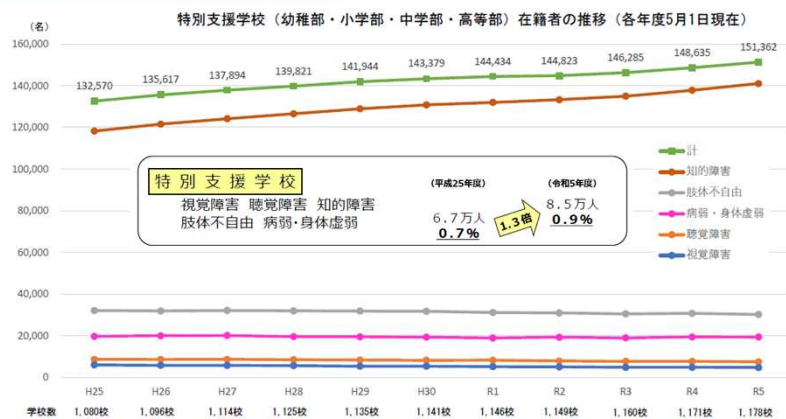


障がいのある児童生徒が地域の中で活躍する、ダイバーシティな社会をめざすことが求められている。

5

特別支援学校の在籍者数増加

特別支援学校の幼児児童生徒数・学校数の推移



【令和5年度の状況】

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	計
学校数	82	120	823	351	156	1,532
在籍者数	4,696	7,457	141,063	30,161	19,339	202,716
学級数	2,068	2,772	33,168	12,003	7,683	57,694

(出典) 学校基本調査

※上記数は、平成19年度より、複数の障害種に対応できる特別支援学校制度へ転換したため、複数の障害に対応する学校及び複数の障害を有する者については、それぞれの障害種に集計している。このため、学校数及び在籍者数のグラフと表の数値は一致しない。

特別支援教育の充実について(文部科学省)

6

1-(2)

徳島県における 特別支援学校に関する これまでの取組

7



R2年 新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会



国府支援学校整備事業
(R2～)

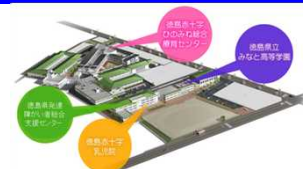


- ・地域を学習の場とする「新たな教育内容」の創造
- ・新たな教育内容を支える「教育環境」の整備
- ・地域を「ダイバーシティ社会」へと導く役割

9

徳島県教育振興計画第2期(計画期間 H25年度～H29年度)に基づく取組

- ・ 発達障がい教育の推進
 - － みなと高等学園, ハナミズキゾーン
- ・ 特別支援教育の相談支援体制の整備
 - － 特別支援教育コーディネーターの充実
 - － 特別支援教育巡回相談員活動の展開
- ・ 就労支援の充実
 - － とくしま特別支援学校技能検定の創設
 - － ゆめチャレンジフェアの開始
(現ゆめチャレンジフェスティバル)



10

徳島県教育振興計画第3期（計画期間 H30年度～R4年度）に基づく取組

• 児童生徒が地域で活躍できる取組

- 四国霊場札所でのお接待
- 地域の企業との連携
- 地域での作品展



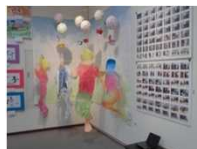
• 就労支援の推進

- 技能検定、技能甲子園
- ゆめチャレンジフェスティバル



• 文化・スポーツでの才能の開花

- きらめきアート展
- スポーツ



11

1-(3)

徳島県立特別支援学校の 現状と課題

12

◆ 現状・課題①

県内全体の児童生徒数が減少する中、
特別支援学校の在籍児童生徒数は年々増加。

- 県内の全児童生徒数
(小・中学校、高等学校、特別支援学校)

H27: 78,090人 → R6: 66,873人 約15%減少

- 県立特別支援学校の児童生徒数

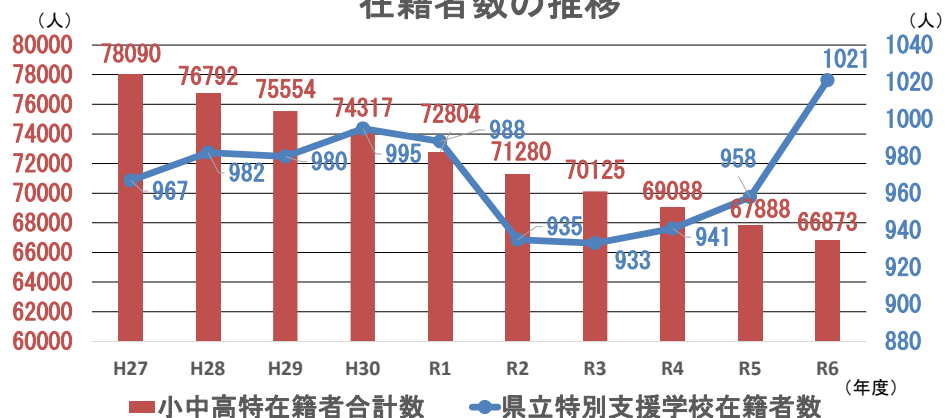
H27: 967人 → R6: 1021人 約6%増加

- 特に「知的障がい」の児童生徒の増加

13

県立特別支援学校の在籍者数増加状況

県内小・中学校、高等学校、特別支援学校
在籍者数の推移

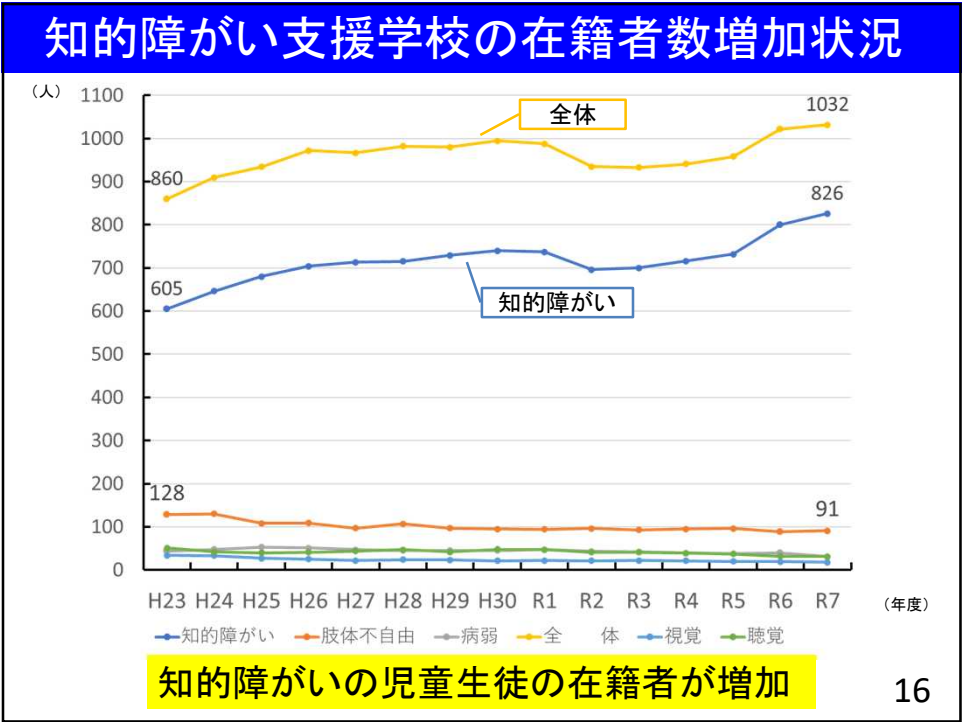


特別支援教育課調べ

14

徳島県立特別支援学校一覧表				
令和7年5月1日時点				
番号	学校名	配置学部	対象障がい種別	在籍児童生徒数(R7)
1	徳島視覚支援学校	幼稚部、小学部、中学部 高等部、高等部専攻科	視覚障がい	18人
2	徳島聴覚支援学校	幼稚部、小学部、中学部 高等部、高等部専攻科	聴覚障がい	31人
3	板野支援学校	小学部、中学部、高等部	肢体不自由、病弱、知的障がい	246人
4	国府支援学校	小学部、中学部、高等部	知的障がい	300人
5	鴨島支援学校	小学部、中学部、高等部	肢体不自由、病弱、 知的障がい(R8～)	11人
6	ひのみね支援学校	小学部、中学部、高等部	肢体不自由	47人
7	阿南支援学校	小学部、中学部、高等部	知的障がい	151人
8	阿南支援学校ひわさ分校	小学部、中学部、高等部	知的障がい	25人
9	池田支援学校	小学部、中学部、高等部	知的障がい	93人
10	池田支援学校美馬分校	高等部	知的障がい	27人
11	みなと高等学園	高等部	病弱で発達障がい 知的障がい発達障がい	83人

15



知的障がい支援学校の在籍者数増加状況

知的障がいを対象とする特別支援学校において
狭隘化が進行



- 国府支援学校の改築・改修による
受入人数の拡大(50人程度)
- 鴨島支援学校における「知的障がい」のある
児童生徒の受入れ(令和8年4月～)

年々増加している特別支援学校在籍児童生徒数
への更なる対応は？

17

◆ 現状・課題②

教員不足が深刻化
求められる教員の専門性向上と人材担保

- 特別支援学校教員採用候補者選考審査の受審状況
R2:63人→R6:43人 約30%減少
- 特別支援学校教員における病休等の取得者数
R元:29人→R5:38人
- 臨時的任用職員のなり手不足
正規採用増加による名簿登録者の減少

18

教員の専門性の維持・向上と人材の確保

特別支援学校においても教員不足が深刻化



(1) 特別支援教育の経験の浅い教員の増加に伴う専門性の維持・担保に向けて

- 専門家チームと協働した、最新の研究知見に基づいた研修
- 特別支援教育アドバンスセミナー(希望研修)の実施

(2) 次世代教員の人材確保に向けて

- 高校生を対象としたインターンシップの実施
- 学校をサポートするボランティアの募集

引き続き、「人材育成」および「人材確保」の取組は重要。
新たな一手とは？

19

◆ 現状・課題③

障がいの有無に関わらず、
可能な限り共に学ぶ「インクルーシブ教育」や
全ての人が活躍できる「共生社会」の推進

- 特別支援学校や特別支援学級等の特別な学びの場に就学する児童生徒数が増加

徳島県教育支援委員会における審議件数の増加
H27:125件→R6:152件

- 相互理解につながる「交流及び共同学習」を実施
①学校間交流 ②居住地校交流
- 特別支援学校を軸とした「地域コミュニティ」を構築

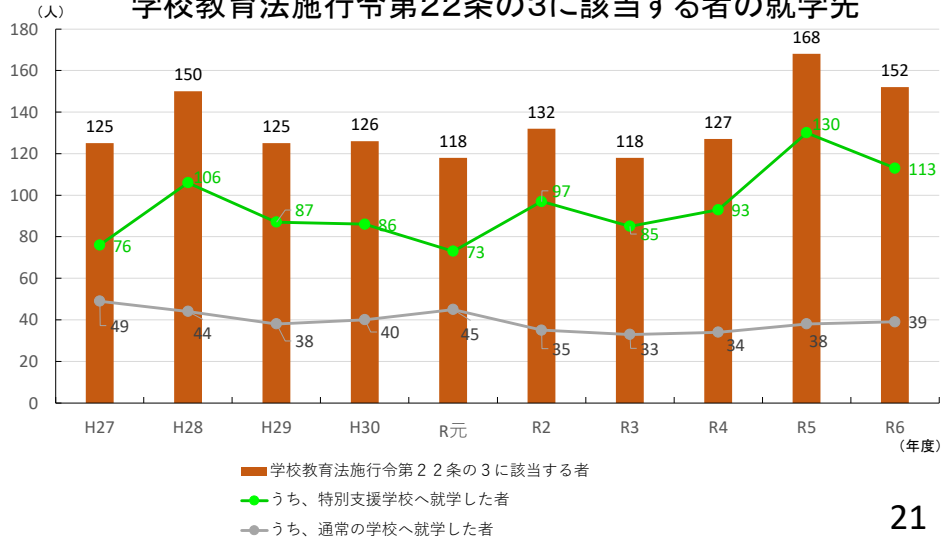
20

市町村教育支援委員会等における審議状況に関する調査

障がいのある児童生徒一人一人の実態に応じた
適切な就学(学びの場)を図るための審議

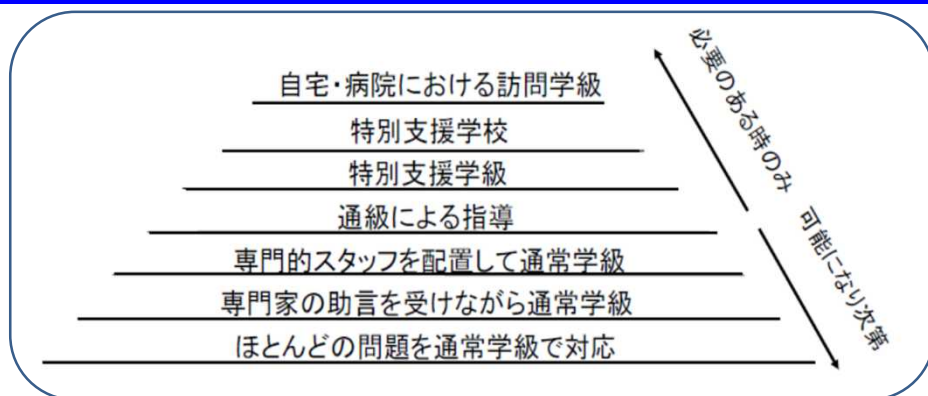
特別支援教育課調べ

学校教育法施行令第22条の3に該当する者の就学先



21

日本の義務教育段階の多様な学びの場の連続性



引用：文部科学省（平成24年）

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」
（報告）参考資料4

「学びの場」は固定的なものでなく、実態に応じて柔軟に対応



「インクルーシブ教育」の実現に向けて・・・

「交流及び共同学習」を通した共に学ぶ体制構築 22

「共生社会」の実現に向けて・・・

徳島教育大綱・徳島県教育振興計画第4期（計画期間 R5年度～R8年度）

◆重点項目Ⅲ

全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進



特別支援学校を軸とした、地域のコミュニティを構築

- 「児童生徒が地域で学ぶ」機会と
「地域の人が学校を訪れる」機会の拡充
- 地域連携イベントの開催による賑わいの創出
- リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド
型の新たな活躍の場や地域交流の機会の創出
- 医療的ケア児の社会参加支援 など

徳島県の地域性等を考慮した今後のインクルーシブ教育の展開は？ どのように進めていくべきか？ 23

2 徳島県立特別支援学校の 教育環境に関する検討会議 について

徳島県立特別支援学校の教育環境に関する有識者会議

◆ 目 的

本県における特別支援学校の教育環境に関する
現状と課題を整理し、実情に根ざした今後の
教育環境の方向性を検討する。

◆ スケジュール

令和 7 年	9 月	第 1 回会議
	1 0 月	第 2 回会議
	1 2 月	第 3 回会議
令和 8 年	2 月	第 4 回会議

25

徳島県立特別支援学校の教育環境に関する有識者会議

◆ 検討事項

(1) 特別な支援を必要とする児童生徒数の今後の人数予測

- ① 特別支援学校に在籍する児童生徒数の推移の見直し
- ② 人口減少等を踏まえた予測に基づく、今後の対応方針の検討

(2) 次世代の特別支援教育の担い手となる人材の
育成と確保

- ① 多様化する障がいに対応できる専門性の担保・向上の取組
- ② 教員不足解消につながる人材確保策の検討

(3) 特別支援学校に在籍する児童生徒が、
可能な限り地域の中で共に学ぶ教育の実現

- ① 徳島県の現状や地域性を踏まえた「インクルーシブ教育」の構想
- ② 既存ストックを活用した教育環境の検討

26